

審査員長

北海道大学観光学高等研究センター

客員教授・小林英俊先生による大賞へのコメント

「特に優れている点は、ツアー実施のための仕組みが地域社会の中に組み込まれていることです。牧野（草原）は阿蘇の大きな魅力ですが、一般人の立入は禁止です。人口減や産業構造の変化等から牧野は減少を続けています。そこで、牧野を観光的に活用することで社会課題を解決しようというのがこの企画です。特別に立ち入りが許される牧野ガイド認定の仕組み、活動ガイドラインの策定、牧野保全料をツアー価格に組み込むことでの安定した資金還流の仕組み等が次々と実現しています。旅行者は人数制限された牧野をゆっくりと楽しみ、地元は新しい収入源の確保につながり、牧野の環境も保全されるという『三方良し』の循環モデルの創出です」

